

重点項目  
Ⅵ

文化・スポーツが躍動する教育の推進

■推進項目16 「躍動スポーツとくしま」づくり

■成果指標

「とくしま競技力向上指定校事業」全国高等学校総合体育大会等の出場率  
(県体育健康安全課調べ)

令和4年度実績

令和8年度目標

—  
（「とくしま競技力向上指定校事業」は  
令和5年度開始のため）



37部/37部

指標の説明

「とくしま競技力向上指定校事業」では、県内の公立高校の運動部活動21校37部を指定し、遠征等の強化活動支援や指導者の育成等を行い、競技力向上を図っていることから、この指標を選定。

積算根拠／得られる成果

令和5年度（事業初年度）32部/37部  
効果的な強化活動や指導により、競技レベルが向上し、本県生徒が国内外で活躍するとともに、「ふるさと徳島」への誇りと愛着が醸成される。

■成果指標の実現に向けた工程表

| 具体的な取組              | 令和5年度 | 令和6年度                                  | 令和7年度 | 令和8年度 |
|---------------------|-------|----------------------------------------|-------|-------|
| 競技力向上指定校における育成強化の実施 |       | 学校におけるスポーツ環境の整備<br>スポーツ医科学を活用した強化活動の実施 |       |       |

**施策の方向性③① 未来のトップアスリートの発掘・育成・強化に向けた取組**

優れた能力を有するアスリートの一層の発掘に努めるとともに、スポーツ拠点校や競技力向上指定校への支援や指導者の養成に努め、各種競技団体との緊密な連携のもと、国際大会や全国大会で活躍できるトップアスリートの育成・強化を推進します。

**【今後の取組】**

- 一貫指導システムの構築、トップ指導者養成等を目的とした「徳島育ち競技力向上プロジェクト」により、競技力の向上を図ります。
- 医科学サポートスタッフが大会等に帯同し、アスリートのコンディション調整や強化、実際のケアを行うことで、選手が日ごろのパフォーマンスを発揮できるよう競技環境の向上を図ります。
- 次代のトップアスリートを育成するため、徳島県中学校体育連盟、徳島県高等学校体育連盟など、各競技団体と連携し、学校を核とした競技力向上への支援に取り組みます。また、有力選手の早期発掘・育成を進めるため、活躍が期待できる競技を選考し、継続的に上位入賞が期待できる運動部の強化と指導者の育成を図ります。
- 全国大会において上位入賞が期待できる高校生トップアスリートや指導者を育成するため、他県強豪チームを招待し、交流試合等を実施します。
- 本県スポーツ科学の普及・振興のため、スポーツ分野のリーディングハイスクールである鳴門渦潮高校スポーツ科学科の充実した施設・設備を活用し、より高度で質の高いスポーツ教育を行います。

**施策の方向性③② 誰もがスポーツに親しみ、参加できる機会の創出**

人生100年時代の到来に向けて、年齢、性別、障がいの有無に関わらず、誰もがスポーツに親しみ、継続して取り組むことができる機会を創出するとともに、地域におけるスポーツ活動の拡充を図るため、総合型地域スポーツクラブ等の体制強化を図ります。

**【今後の取組】**

- スポーツ教室の開催や指導者の派遣等、総合型地域スポーツクラブ等を活用して子どもがスポーツに参加する場を拡大し、子どもの運動の習慣化を促進します。
- 総合型地域スポーツクラブの自立的な運営や、スポーツによる地域課題の解決に向けた取組を促進し、地域におけるスポーツ活動の拡充を図ります。
- パラスポーツ実施を支える指導者等の育成・派遣等、障がいのある人が日常的にスポーツを楽しむ環境づくりに取り組み、参画機会の拡大を図ります。

## ■推進項目17 「あわ文化」の継承・創造

### ■成果指標

#### 県中学校及び高等学校総合文化祭への参加生徒数（県学校教育課調べ）

令和4年度実績

3,085人



令和8年度目標

10,000人  
(R5からの累計)

#### 指標の説明

県中学校総合文化祭及び高等学校総合文化祭は、生徒の文化芸術活動の成果発表の場であり、参加数は文化芸術活動の広がりを表すことから、この指標を選定。

#### 積算根拠／得られる成果

令和4年度実績値をもとに、毎年2,500人の生徒による舞台発表、作品展示等での参加を目指し、4年間の累計とする。  
この目標の達成により、文化芸術に親しむ生徒と次代の文化の創出者の育成が図られる。

### ■成果指標の実現に向けた工程表

| 具体的な取組        | 令和5年度               | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|---------------|---------------------|-------|-------|-------|
| 「あわ文化」体験活動の推進 | ふるさとの良さを体感する活動内容の充実 |       |       |       |
| 徳島の魅力の県内外への発信 | 発信方法・内容の検討          |       |       |       |
|               | 幅広い世代への情報発信の強化      |       |       |       |
| 活動・発表の場の充実    | より効果的な活動発表の場の検討と確保  |       |       |       |

**施策の方向性③ 文化芸術の継承、次代の担い手育成**

徳島が誇る「あわ文化」等、文化芸術を次代に継承する人材を育成するため、子どもたちが一流の文化芸術に触れる機会の創出や、作品・活動の発表に向けた支援の充実を図ります。

**【今後の取組】****【文化芸術に触れる機会の創出】**

- 児童生徒に対し、文化芸術に親しむ機会を提供することにより、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげます。
- 県民誰もが文化芸術に触れる機会を創出するため、県内各地域において、小・中・高校生を招待するインリーチ\*的な要素も視野に入れた文化芸術公演を実施します。

**【作品・活動の発表に向けた支援の充実】**

- 徳島県中学校文化連盟、徳島県高等学校文化連盟と連携し、生徒の活動や成果を広く情報発信することにより、文化活動に取り組む児童生徒の裾野拡大を目指し、次代へつなげる「文化レガシー」として継承します。
- 阿波人形浄瑠璃や阿波おどりに取り組む高校を支援することで、部活動の活性化と生徒のスキルアップを図るとともに、文化の担い手の育成を推進します。
- 「あわ文化教育人材バンク」が、学校での文化芸術活動や部活動の指導で一層活用されるよう、新規人材の開拓と制度の周知に努めます。
- 文化芸術分野のリーディングハイスクールである名西高校の成果を発信し、本県文化芸術の普及・振興を図ります。

※ インリーチ：劇場、ホール、美術館等に来てもらい、文化芸術に触れたり、創造活動に参加したりすること。

**施策の方向性④ 「あわ文化」の創造・発信**

徳島の伝統文化を担い、その魅力を県内外及び海外に向けて発信する人材を育成するため、地域資源を生かした多様な体験・交流活動などによる「あわ文化」に関する教育の推進を図ります。

**【今後の取組】**

- 「あわ文化」の伝承・発信における中学生のリーダーである「あわっ子文化大使」\*と、高校生の「あわっ子文化大使サポーター」\*が、地域と連携した本県ならではの体験を通して、「ふるさと徳島」の魅力を県内外及び海外に向けて発信する活動を推進します。

※ あわっ子文化大使：郷土徳島の文化や文化財について学び、ふるさとを愛し、大人になってからも徳島の文化に誇りを持って、県内外に発信できる人材として知事に認定された中学生。

※ あわっ子文化大使サポーター：「あわっ子文化大使」経験者のうち、中学校卒業後もその活動をサポートし、中学生とともに徳島の魅力を県内外に発信しようとする高校生等。

## ■推進項目18 郷土への誇りを育む教育の充実

### ■成果指標

#### 県内中学生における「あわ文化検定」の受検者数（県学校教育課調べ）

令和4年度実績

1,346人



令和8年度目標

4,000人  
(R5からの累計)

#### 指標の説明

「あわ文化検定」のオンライン受検者数。「あわ文化」教育の推進状況を反映するものであることから、この指標を選定。

#### 積算根拠／得られる成果

毎年度1,000人の受検者の確保を目指し、4年間の累計とする。  
学校における「あわ文化教育」を推進することで、「ふるさと徳島」への誇りを持ち、郷土を愛する心を醸成することができる。

### ■成果指標の実現に向けた工程表

| 具体的な取組       | 令和5年度                  | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 |
|--------------|------------------------|-------|-------|-------|
| 教員対象研修の内容の充実 | 教員対象研修のアンケートの分析、内容の見直し |       |       |       |
|              | 「あわ文化教育」の好事例の横展開       |       |       |       |
| あわ文化検定受検の奨励  | 受検方法の周知や時期の検討          |       |       |       |
|              | 検定受検の周知に係る好事例の横展開      |       |       |       |
| 検定内容の検討      | 検定問題の改良・改善             |       |       |       |

**施策の方向性③⑤ 「ふるさと徳島」への誇りを醸成する教育の推進**

豊かな自然や地域に受け継がれている伝統文化等、徳島の多様な自然と人々が育み培った歴史的遺産に誇りを持ち、郷土を愛する心を醸成するため、文化財の持つ魅力や価値の共有を図ります。

**【今後の取組】**

- 全ての公立中学校で、「あわ文化テキストブック」を活用した「あわ文化教育」を引き続き推進するとともに、中学生の積極的な「あわ文化検定」の受検を促進します。
- 「ふるさと徳島」への誇りを持ち、郷土を愛する心を醸成するため、「阿波人形浄瑠璃体験教室」等を開催し、次代の担い手を育成します。
- 県立総合大学校において、高等教育機関と連携し、県民が徳島の歴史や文化などを体系的に学び、郷土の魅力を再発見することができる講座を開催し、地方創生の担い手として活躍できる人材の育成を図ります。

**施策の方向性③⑥ 世界遺産登録への挑戦**

先人の貴重な遺産を後世に引き継ぐとともに、地域への誇りや愛着を育むため、長い歴史を超えて地域と共存し継承されてきた「四国遍路」や、日本を代表する景勝地である「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向けた取組を加速します。

**【今後の取組】**

- 「四国遍路」の世界遺産登録を推進するため、札所寺院や遍路道を国の史跡として指定する資産の保護措置を進めるとともに、「四国遍路文化」の魅力を発信します。
- 「鳴門の渦潮」の世界遺産登録を推進するため、兵庫県及び関係市・団体と連携して取組を進めるとともに、その魅力を国内外に発信します。